

令和7年度 第1回 富津市文化財審議会 会議録

1 会議の名称	令和7年度 第1回 富津市文化財審議会
2 開催日時	令和7年6月23日(月) 14時00分～16時45分
3 開催場所	富津市消防防災センター会議室
4 審議等事項	議題 (1) 令和6年度文化財事業報告について (2) 令和7年度文化財事業計画(案)について (3) 第13次富津市指定文化財物件の検討について 報告 (1) 鋸山日本遺産「候補地域」活用推進事業について
5 出席者名	(委員) 杉山 林繼、川名 興、鈴木 順一、高梨 正、高橋 克、 筑紫 敏夫、小澤 洋、笹生 衛 (事務局) 山下秋一郎、中山 淳子、篠田 優子、牧野 啓介、佃 沙奈、 金木 佑天、中村 文洋
6 公開又は非公開の別	公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 非公開
7 非公開の理由	(富津市情報公開条例第23条第2号により非公開)
8 傍聴人の人数	1人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
篠田生涯学習課長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、ご多用のところ本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。本日の会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の篠田でございます。</p> <p>会議に先立ちまして、牧野係長より資料の確認をさせていただきます。</p>
牧野文化係長	<p>(資料確認)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 席次表 3 議題（１）資料 4 議題（２）資料 5 議題（３）資料 6 報告（１）資料 7 令和６年度富津市内遺跡発掘調査報告書 8 内裏塚古墳群国指定答申関連報道資料
篠田生涯学習課長	<p>それでは、只今から、令和７年度第１回富津市文化財審議会の会議を開始いたします。</p> <p>はじめに、本日の出席状況を報告いたします。出席者８名、欠席者１名です。従いまして、富津市文化財の保護に関する条例第２７条第２項の規定により過半数の委員の出席を得ており、本会議は成立しております。</p> <p>なお、本日の傍聴については１名となりますのでご報告いたします。また、会議録調整のため録音をさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>それではここで、山下教育長より皆様にご挨拶申し上げます。</p>
山下教育長	<p>こんにちは、教育長の山下と申します。本日は大変お忙しいところ富津市文化財審議会会議にご出席をいただきありがとうございます。委員の皆様は市内だけでなく市外、県外にお住いの方もいらっしゃいます。お暑い中足を運んでいただいたこと、御礼申し上げます。先ほど資料の確認の中でもありましたが、内裏塚古墳群を国史跡に、というニュースが出ました。今日の午前中に市長と生涯学習課の案内で７つの史跡をみてまいりました。よくここまで残されていたな、というのは富津市民、</p>

	<p>地域の方のご尽力があつてのことに、驚きとありがたいところでございます。古墳に代表されるように、富津市には有形無形の様々な文化財が残っておりますが、それぞれご専門の立場から文化財の保存と活用に関しまして忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
篠田生涯学習課長	<p>ありがとうございました。山下教育長におかれましては、他の職務の都合により、ここで退席とさせていただきます。続きまして、杉山会長よりご挨拶を頂戴いたします。</p>
杉山会長	<p>本日も大変暑くなっています。内裏塚古墳群が国の指定になったこと、大変良いことだと思います。ですが、公有地化も併せて進めていくことが必要です。これからが大切になっていきますので、やれるところから徐々に進めていく必要があると思います。今後も課題は多いと思いますので、頑張っていかなければと思っています。</p>
篠田生涯学習課長	<p>ありがとうございました。続きまして、富津市文化財の保護に関する条例第 26 条第 3 項の規定により、「会長は、審議会を代表し、その会務を総理する」となっておりますので、これからは杉山会長に会議を進めていただきたいと思いますので、議長をよろしくお願いいたします。</p>
杉山会長	<p>それでは議長を務めさせていただきます。 はじめに、本日の会議の会議録署名人を指名させていただきます。会議録署名人には、筑紫委員・高橋委員にお願いいたします。</p>
筑紫委員・高橋委員	<p>はい。</p>
杉山会長	<p>それでは、これより議題に入りたいと思います。 議題（１）令和 6 年度文化財事業報告について、事務局から説明を求めます。</p>
牧野文化係長	<p>はい。議題（１）令和 6 年度文化財事業報告についてご説明いたします。 まず、令和 6 年 7 月 30 日に富津市消防防災センター会議室で開催しま</p>

した令和6年度第1回文化財審議会について説明します。

議題としては、①会長・副会長の選出として、杉山会長、高梨副会長の選出をしております。②令和5年度文化財事業報告、③令和6年度文化財事業計画（案）について、④内裏塚古墳群の国史跡追加指定に向けた意見具申等について、報告として①県指定文化財の修復事業についてとして、三柱神社本殿の修復、真福寺絹本着色清涼殿八宗論図の修復状況について、②鋸山日本遺産「候補地域」の事業について、③第11次富津市文化財の指定の完了についてとして、令和5年度に新指定とした3件の板碑について、④内裏塚古墳群出土人骨に関する調査についてを報告しています。

続きまして、令和7年3月26日に富津市役所5階502会議室で開催しました令和6年度第2回文化財審議会について説明します。

議題としては、①第12次市指定文化財候補物件の選定について、報告として①内裏塚古墳群の国史跡追加指定のための意見具申等についてを報告しています。

続きまして、令和6年度文化財保護の事業の実施状況の報告となります。

●天然記念物「高宕山のサル生息地」

のサルによる被害防止管理事業 2,460,000円

【富津市・君津市共同事業】 (両市総額) 4,473,000円

被害防止事業、生態調査と個体数管理、生息環境調査を実施し、事業委託先は天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団。

●市内遺跡発掘調査事業

【国・県補助事業】 2,237,058円

個人住宅建設及び小規模宅地造成に伴う確認調査として、飯野陣屋三の丸跡、狐塚遺跡、北笹塚遺跡8、富士見台遺跡13の4件を実施、整理作業として令和5年度に調査・記録した3遺跡の整理作業をし、『令和6年度富津市内遺跡発掘調査報告書』として刊行した。

●民間開発発掘調査事業

0円

	<p>対象事業がなかったため支出なし。</p> <p>●指定文化財管理事業 117,000 円</p> <p>県指定物件 5 件、市指定物件 15 件、計 20 件に対する維持管理費を報償費として支出。</p> <p>●調査官派遣事業 42,180 円</p> <p>内裏塚古墳群の国指定史跡に向けての文化庁調査官現地調査の派遣費用として、交通費・宿泊費を支出。</p> <p>●文化財周知板設置事業 88,000 円</p> <p>老朽化に伴う文化財説明板の付替えとして、白山の大スギ、像法寺の石造宝篋印塔、石造層塔の 2 ケ所で実施。</p> <p>●文化財史跡用地取得事業 4,022,488 円 【国・県補助事業】</p> <p>国指定史跡内裏塚古墳用地取得費（富津市二間塚 1966 番 5 他 3 筆）、同地取得に伴う不動産鑑定業務委託手数料。うち国から 3,217,000 円（80%）、県から 267,000 円（6.66%）の補助。</p> <p>●指定文化財保存整備事業 2,308,000 円 【県補助事業】</p> <p>県指定文化財三柱神社本殿の修復工事に伴う市補助金 1,000,000 円、県指定文化財 真福寺「絹本著色清涼殿八宗論図」の修復事業に伴う市補助金 1,308,000 円の合計額。</p> <p>●文化財・文化財施設環境整備事業 1,771,000 円</p> <p>内裏塚古墳の倒木予防として 231,000 円、市が所有する古墳等の草刈</p>
--	--

	<p>り・樹木伐採として 935,000 円、飯野陣屋土塁北側の樹木伐採として 605,000 円の委託費の合計額。飯野陣屋については4辺を4か年かけて実施予定。</p> <p>●青堀駅東口史跡情報案内所 「古墳の里ふれあい館」清掃委託事業 549,800 円 ※トイレ清掃委託料</p> <p>●鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業 【富津市・鋸南町共同事業】 845,861 円</p> <p>鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会で実施した6事業の総事業費1,691,722 円を富津市・鋸南町で折半している。</p> <p>このほか、実施額は0円ですが、市内教職員を対象にした富津市内の文化財講習会、小学校から依頼を受けて実施した出前授業、スポーツ推進委員のイベントとタイアップした史跡解説、一般の団体等から依頼を受けた場合に実施する出前講座のほか、富津市立図書館郷土資料コーナーでの企画展示を継続して実施しております。</p> <p>以上で「令和6年度事業報告について」の説明を終わります。</p>
杉山会長	<p>ありがとうございます。 事務局からの説明について、何かご質問等ございますか。</p>
小沢委員	<p>内裏塚古墳の買い上げについてですが、どの辺りでしょうか。</p>
牧野文化係長	<p>はい。お答えいたします。 内裏塚古墳西側の周溝部分にあたります。</p>
杉山会長	<p>ほかにごいませんか。無いようですので、議題（1）令和6年度事業報告についてはご承認いただけますか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
杉山会長	<p>では議案（1）については承認をいただきましたので、続いて議案（2）</p>

<p>牧野文化係長</p>	<p>令和7年度文化財事業計画（案）について、事務局から説明を求めます。</p> <p>はい。議題（2）令和7年度文化財事業計画（案）についてご説明いたします。まず、文化財審議会の開催予定についてです。</p> <p>本日、第1回目として令和7年6月23日に富津市消防防災センター会議室で実施しています。議題は、①令和6年度文化財事業報告について、②令和7年度文化財事業計画（案）について、③第13次富津市指定文化財物件の検討について、報告として、①鋸山日本遺産「候補地域」活用推進事業について、を予定しております。</p> <p>第2回文化財審議会は、令和8年3月頃を予定しております。議題は、①第12次市指定文化財の指定について、報告として、①鋸山日本遺産認定申請について、今年度末に再度の申請を検討しております。②内裏塚古墳群の史跡追加指定に伴う市指定文化財の解除について、現在市指定文化財となっている4基の古墳の指定解除の報告を予定しております。</p> <p>続いて、令和7年度の文化財事業の内容についてご説明します。</p> <p>●天然記念物「高宕山のサル生息地」 のサルによる被害 防止管理事業 2,460,000 円 【富津市・君津市共同事業】 (両市総額) 4,473,000 円</p> <p>継続して被害防止事業、生態調査と個体数管理、生息環境調査を実施する。</p> <p>●市内遺跡発掘調査事業 3,214,000 円 【国・県補助事業】</p> <p>うち 314,000 円は補助対象外経費。450 m²分を調査する金額（総額 4,841,000 円）で予算をとったが、国・県の補助金が 290 m²分の補助額のみだったため、予算書と金額が異なっている。2,000,000 円を個人住宅等確認調査として、900,000 円を新規に青木亀塚古墳の保存目的の確認調査として実施。</p> <p>●民間開発発掘調査事業 4,737,000 円</p> <p>●指定文化財管理事業 119,000 円</p>
---------------	---

県指定物件 5 件、市指定物件 16 件に対する維持管理費一部助成。

●文化財周知板設置事業 88,000 円

●文化財・文化財施設環境整備事業 3,850,000 円

市が所有する古墳等の草刈り・樹木伐採、飯野陣屋土塁南側の樹木伐採の委託費。

●青堀駅東口史跡情報案内所

「古墳の里ふれあい館」清掃委託事業 574,160 円

※トイレ清掃委託料

●指定文化財保存整備事業

【県補助事業】 1,000,000 円

県指定文化財三柱神社本殿の再建工事費の一部補助。令和 7 年度が最終年度となる。

●鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業 1,500,000 円

【富津市・鋸南町共同事業】 (両市総額) 3,000,000 円

●内裏塚古墳群保存整備事業 274,190 円

令和 7 年度より、内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会を立ち上げるため、委員報償費、内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会文化庁職員派遣費として。

●富津市立図書館郷土資料コーナー等

の企画展示事業 41,000 円

●ADEAC デジタルアーカイブ事業

富津市立図書館指定管理事業の一つとして実施。

●富津市の歴史・文化財等に関する出前講座事業

令和7年度文化財関係予算については別紙のとおりです。

別紙

款項目	説明	今年度 (千円)	前年度 (千円)	比較 (千円)
10. 教育費	文化財保護費総額	20,251	21,222	△ 971
4. 社会教育費	◎文化財審議会関係費	150	150	0
6. 文化財保護費	委員報酬	123	123	0
	費用弁償	27	27	0
	◎文化財保護関係費	7,788	11,835	△ 4,047
	国・県・市指定文化財管理費報償費	119	119	0
	市文化財指定に伴う現地調査のための有識者謝金	20	0	20
	旅費(文化財関係研修等)	21	42	△ 21
	需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費)	548	253	295
	役務費(保険料、不動産鑑定委託料)	5	183	△ 178
	文化財周知板設置委託料	88	88	0
	文化財・文化財施設環境整備事業委託料	3,850	2,832	1,018
	青堀駅東口史跡情報案内所・トイレ清掃委託料	575	559	16
	使用料及び賃借料	58	201	△ 143
	文化財史跡用地取得費	0	3,846	△ 3,846
	県史跡整備市町村協議会負担金	4	4	0
	指定文化財保存整備事業補助金	1,000	2,308	△ 1,308
	鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会負担金	1,500	1,400	100
	◎内裏塚古墳群保存整備事業	275	0	275
	◎市内遺跡発掘調査事業	4,841	2,321	2,520
	◎民間開発発掘調査事業	4,737	4,456	281
	◎天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業委託料	2,460	2,460	0

以上で、令和7年度文化財事業計画(案)の説明を終わります。

杉山会長

ありがとうございました。議題(2)令和7年度文化財事業計画(案)について、質問ございますか。

<p>笹生委員</p>	<p>はい。確認ですが、文化財の指定の流れについてお伺いします。かつては年3回委員会を実施していたので、諮問・答申・指定が単年度でおおよそ出来ておりましたが、今回の第12次指定文化財については、昨年度末に審議したものが、今年度末に諮問という形になるのでしょうか。そうすると答申が令和8年度となり、指定まで2年以上かかるということでしょうか。時間がかかってしまうことについても、審議会の回数の問題もありますが、今後の流れを確認しておく必要があると思います。</p> <p>また、今回古墳群として国史跡となったことは喜ばしいことではあります。今後の整備でも、ガイダンス施設の話も出てくると思います。富津市は保存の拠点となる資料館・博物館がありませんので、そのあたりも踏まえてどのような施策を考えているのか、大きな話になってしまいますのでここで答えいただかなくてもと思いますが、収蔵庫や拠点施設も視野に入れて計画を進めていかなければ有効な形では進まないと思います。わかる範囲で答えいただければと思います。</p>
<p>杉山会長</p>	<p>大きな問題にもなってきますが、審議会は現在2回ですが、かつては年3～4回実施していました。指定の議論や確定には時間を要するので、本来はもう1回会議が多いほうが良いと思います。これについては事務局で相談いただくことと思いますが、審議会としては年3回開いていただきたいというのが希望であります。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>条例で回数は決まっていないのでしょうか。</p>
<p>杉山会長</p>	<p>条例では決まっています。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>入れてある市もありますよね。回数を増やしてもよいのではないのでしょうか。</p>
<p>杉山会長</p>	<p>最低年3回は実施したほうがよいとは思いますが、という意見ですね。</p>
<p>笹生委員</p>	<p>指定をして保護して活用していく、ということが重要な役割だと思います。それに見合った形で運営していくことが必要ではないのでしょうか。</p>
<p>牧野文化係長</p>	<p>はい。文化財審議会の回数については、事務局で検討をさせていただきます。文化財の指定につきましては、前回の会議で検討いただき</p>

	<p>物件を決定したということで、現在調書の作成をお願いしております。年2回の会議となってしまいますので、第11次指定文化財の指定時と同様に、諮問と答申を令和7年度第2回文化財審議会で、同3月の教育委員会定例会で指定とする流れを想定しています。</p>
杉山会長	<p>そうすると諮問と答申が同時になってしまいます。本来は、議題として諮問されたものに時間をかけて審議し、会議の中で承認し、答申するものとなります。十分な審議をしているものは、諮問と答申の期間を短くするものもありますが、やはり年3回ないと、審議・諮問・答申と三段階で進めることは難しいです。3回あれば、年度内の諮問と答申が可能となりますので、回数を増やすよう検討いただければと思います。</p>
筑紫委員	<p>候補物件のリスト化や資料の事前送付など事務局の努力はよくわかります。ですが、年3回はないと文化財審議会としてのスムーズな運営は難しいかと思います。</p>
篠田生涯学習課長	<p>はい。審議会の回数についてこの場で回答はできませんが、前回の指定から時間が経っていたことや、年2回の会議の中で指定を進めていたこともあり、検討する時間をいただければと思います。</p>
杉山会長	<p>委員からの反対はありませんので、事務局で善処いただければと思います。</p>
高橋委員	<p>高宕山のサルの実業もそうですが、これに限らず事業計画に対しての調査結果が明記されていません。予算を使つての委託事業であれば、結果を示す必要があると思います。</p>
杉山会長	<p>恐らく報告書があるはずです。</p>
牧野文化係長	<p>はい。「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業については、実績報告書として提出されています。</p>
高橋委員	<p>昨年度もお伝えしましたが、その実績報告書を会議で見せてもらわないと事業結果がわかりません。</p>

牧野文化係長	<p>会議での共有が出来ず申し訳ありません。今後、報告書の添付を検討いたします。</p>
高橋委員	<p>また、補助金で三柱神社や真福寺の八宗論図の修繕を行っていると思いますが、完成後にどうするかを検討が必要です。予算を使って修繕をしているのですから、施工途中の見学会や説明会、完成後の見学会も必要です。物の場合は、どこかで展示して見学してもらう必要もあると思います。その際に、自由に使える会場・文化財を展示できる場所が必要です。そうすると、資料館や博物館といった建設を考えるべきだと思います。探せば会場はあるかもしれませんが、基点となる場所をしっかりと作ることが必要だと思います。</p>
鈴木委員	<p>令和6年度の事業計画にもありますが、図書館資料コーナーでの展示も一般の人にみられる形で良いと思います。資料館や博物館は一般の人に向けても必要な施設と思います。また、図書館の郷土資料コーナーで、展示と関連した書籍を用意するのが良いと思います。カルタの展示の際には関連資料が用意されていました。もし一般向けの図書がなければ、図書購入費で文化財関連の書籍を用意しても良いのではないかと思います。</p>
高梨委員	<p>図書館の郷土資料コーナーですが、予算0円でよく頑張っているなと思います。図書館利用時に見に行きますが、工夫をして、実物資料と三次元データを組み合わせて市民向けに展示されていると思います。この形で今後も展示を進めてもらえればと思います。急に資料館の設立は困難ですので、今あるものの活用も進めてもらえればと思います。</p>
杉山会長	<p>市立博物館があれば、というところですが、事業に対する成果が必要で、その成果を市民へ展示・公開していく努力が必要になってきます。</p>
鈴木委員	<p>市の施策として、ふるさと富津への誇りと愛着を大きく掲げています。具体的には出前講座や図書館展示もそれにあたると思います。市民へ向けて広く周知されれば良いと思います。</p>
杉山会長	<p>博物館は長年の希望ではありますが、少しずつでも努力いただければと思いますので、事務局としてもよろしく願いいたします。</p>

小沢委員	はい。事業の中に、「文化財・文化財施設環境整備事業」がありますが、過去は飯野収蔵庫があったため施設が入っていますが、今は史跡周辺だけですので、施設をとってしまっても良いと思います。今後指定となれば、古塚古墳も入れてもらえればと思います。
杉山会長	他にないようであれば、議題（２）令和７年度事業計画（案）についてはご承認いただけますか。
委員一同	異議なし。
杉山会長	<p>続きまして、議題（３）第１３次富津市指定文化財物件の検討について、事務局の説明をお願いします。</p> <p><u>富津市情報公開条例第２３条第１項第２号に該当するため非公開</u></p>
杉山会長	続きまして、報告（１）鋸山日本遺産「候補地域」活用推進事業について事務局より説明をお願いします。
金木主任主事	<p>はい。報告（１）鋸山日本遺産「候補地域」活用推進事業についてご説明いたします。令和６年度は日本遺産候補地域事業として７つの事業を予定しておりましたが、審査において残念ながら日本遺産に認定ならず、となり、複数の課題を示されました。そのため、構成文化財の観光ガイドについては一度見直しを図るということで実施をしませんでした。実際には６つの事業を実施しています。課題としましては、ストーリーをより明確にすることや、民間事業者との連携を図ることなどの指摘を受けました。</p> <p>重点的に実施した事業として、観光活性・長期安定化検討事業として、日本遺産ストーリーの再構築、将来像の明確化、地域プロデューサーの確保・育成、官民連携の強化をねらいとし、文化庁日本遺産プロデューサー派遣制度を活用しました。本田勝之助氏を招き、ストーリーに助言をいただいたほか、鋸山コアメンバー会議を計５回開催しストーリー・将来像・事業計画等を検討しました。また、日本遺産ストーリー等の見直し、来年度以降の事業展開等を検討するため、鋸山認定ガイドの荒垣由以子氏が代表を務める LocalLife&Culture 合同会社にコンサルタント業務を委託しています。</p>

	<p>また、新規事業として、鋸山のロゴマークを活用したコースターを作成し、鋸山PRイベント事業としてPRブースを出展してクイズラリー参加者やアンケート協力者にコースターを配付しています。日本遺産の認知度の向上も目的として実施しています。</p> <p>域内小中学校での普及啓発事業では、鋸山の認知度と共に鋸山以外の校外学習の需要も高まっています。鋸山の教室ではアンケートも集計しており、地域に誇りと愛着をもっているという項目は概ね9割の生徒がありと回答しています。</p> <p>続いて、令和7年度事業の計画についてご説明します。令和6年度と近い方向性ではありますが、重点的に実施するものとして、鋸山マーケティング調査の新規事業がございます。今年度末に認定申請を予定しておりますので、そのために必要な地域活性化計画、どのような将来像を設定するか、KPI値・目標値はどのようなものを設定するか、外国人観光客数や経済効果といったものを定めていくための実態調査を実施します。また、体験プログラム構築事業として、これまで継続的に実施してきた版画刷り体験に加え、日本遺産ストーリーの体験につながる整備や、インバウンド向けの出張教室など、収益化を見込んだ教室事業の開催を検討しています。そのほか、域内小中学校での普及啓発事業についても、鋸山ガイドを講師として「鋸山の教室」を開催します。回数を重ねてきましたので、中学生に向けての授業内容を再検討し、レベルの高い出前授業ができるよう検討しています。また、鋸山PRイベント事業についても、日本遺産の認知度の向上のため、各イベント開催に合わせたブース出展などを行っていきます。6月15日にも佐原市で行われたちばみんフェスでブース出展、21・22日にも道の駅保田小学校で宣伝イベント・アンケート調査も実施しました。民間事業者からも協力をいただけるようになり、鋸山ロゴマークを入れたオリジナルポロシャツやTシャツの作成を道の駅保田小学校が製作し、販売しています。地域ブランドとして浸透できるようになってきたと実感しています。</p> <p>今年度3月上旬になると思いますが、再度日本遺産認定へ申請を行い、来年度に結果を待つという形になります。以上です。</p>
杉山会長	昨年度刊行した報告書2冊は広く配布されたのですか？
金木主任主事	昨年度の事業で刊行した石切場調査報告書、千五百羅漢調査報告書に

	<p>つきましては、補助金事業のため近隣自治体、関連自治体に配布をしておりますが、一般への配布は行っておりません。</p>
杉山会長	<p>せっかく作ったものなので、一般的に配布できる事業を考えてもらえればと思います。</p>
笹生委員	<p>ガイドブックの刊行事業は、ストーリーへの指摘もあったということで中止したとのことですが、昨年度、中世からの鋸山の歴史について再検討したいということでお話をしていますが、その辺りの進捗状況はどうなっているのでしょうか。</p>
金木主任主事	<p>概要は定まってきました。指摘の中で、歴史的事実が重要ですというお話をいただいていますので、曖昧な歴史については触れず、鋸山をみていく上では江戸時代以降をメインとしたストーリーを考えています。例えば、江戸時代の江戸庶民から見た鋸山、実際に訪れた人物に主眼を置いたストーリーなど、読み手を主人公としたストーリーとして作成をしています。時代の羅列では駄目という指摘もありましたので、鋸山がどういった山なのか、房総半島における鋸山の立ち位置やシンボルであったことを踏まえつつ、信仰の側面、産業の側面と共に鋸山に行くと見えてくるもの、感じられるものを伝えられるように検討しています。そのため、構成文化財の見直しも必要となっています。</p>
笹生委員	<p>なぜ鋸山なのか、というところを明確に打ち出す必要があって、江戸時代に観光地化したというのは、急に江戸時代にはじまったということではなく、先行して聖地になっていたのが展開していくわけです。その時に鎌倉との繋がりであったり、二階堂氏の所領であったり、下ノ坊遺跡からは鎌倉から直輸入の陶磁器が出土しています。長狭街道の出入り口の石の柱ということもありますので、房総における鋸山の歴史的位置づけを明確にしていかないとストーリーがあやふやなものになってしまうと思います。江戸時代の前史から進めていかないと、中世の文書や遺跡から辿れるようになっていきますので、房総と鎌倉の繋がり是非常に強いので、その中で宗教者が行き来したりと影響を受けています。日本寺も元々は麓にありましたので、前史も含めて検討いただければと思います。</p>

杉山会長	<p>実際に水戸光圈も行っていますし、源頼朝も歩いて通ったと伝えられています。鎌倉時代、江戸初期と人は動いていますので、うまく活用してください。</p>
高梨委員	<p>小中学生を対象にした事業を行われていますが、実際に鋸山を登った率直な感想を教えてもらいたいです。今までは大人の発想が多かったと思います。</p>
金木主任主事	<p>昨年度、小学校3年生を案内した際には、山頂からの景色、東京スカイツリーなどが見えると喜びました。反応が良いものは地獄のぞき、千五百羅漢像も面白いものとして映るようでした。日本寺大仏も大きさから昔の人のすごさも感じられるようでした。鋸山の教室でのアンケートでは、地獄のぞきや日本寺大仏、石切場跡としてはラピュタの壁が興味関心をもつものようです。</p>
高梨委員	<p>百尺観音はどうでしょうか。</p>
金木主任主事	<p>インパクトとしては他に負けてしまうようです。</p>
高梨委員	<p>西方から来た人々が、なぜ日本寺を信仰の山として捉えたのかももう少し知りたいところです。</p>
杉山会長	<p>他に意見もないようですので、報告は以上ということによろしいでしょうか。</p> <p>いろいろと課題も多いですが、今回は内裏塚古墳群が国史跡となるということで喜ばしいことと思います。富津市内には重要な文化財がたくさんありますので、それを観光資源としても活用しながら、委員の皆様も共に頑張っていただければと思います。本日は長時間にわたりありがとうございました。事務局にお返しします。</p>
篠田生涯学習課長	<p>議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間の審議をいただきありがとうございました。以上をもちまして令和7年度第1回文化財審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>